

## 首里城祭関連周辺イベント

### 万国津梁の灯火

日時：10月26日(土)・27日(日)  
午後5時～9時  
場所：首里城公園内各所、  
守礼門、真珠道など  
(無料区域)

夜の首里城をたくさん子どもたちの灯り絵を灯火が幻想的に彩ります。この時しか見られない夜の首里城散策をぜひお楽しみください。

### スイマチ「天に響む」コンサート

料金：無料  
日時：10月27日(日) 午後6:30～7:30  
場所：首里城公園(首里杜館芝生広場)

美しい夜の首里城で琉球楽器の音色を  
楽しみませんか。

### ～天地開闢をテーマにした琉球の民族音楽～

演目：詩曲「響」 作曲：普久原 恒勇



開幕 前奏曲  
序 序奏

- 第1章 天と地 歌・おもろ
- 第2章 風と光 夏・雲・風・太陽・月
- 第3章 エーファイ・海と山・遊び庭
- 第4章 ゆがふう・月に踊る・海の幸・山の幸・神あしやぎ・乱暴
- 第5章 まつり

### 旗頭・祝賀パレード

日時：11月3日(日) 午後1:30～  
場所：池端交差点～鳥掘交差点

・旧博物館跡地前  
・ローソン当麻店前  
・首里公民館前  
・JA首里城下町支店前  
が演奏場所です！

### 人間国宝展

日時：11月3日(日) 10:00～  
場所：首里公民館  
(大ホール)

入場：無料

紅型、首里織、金細工等、貴重伝統の技を展示。

## 復活15周年記念「首里城水取り行事」

毎年首里城へ献上され、国王の年始儀式「お水撫で」が執り行われる等、琉球王朝ゆかりの伝統行事、国頭辺戸の「大川御水取り」を再生した「首里城お水取り行事」。平成10年、120年の時を超え復活し、今回で第15回目の開催となります。バス見学会へのお申込は、電話またはFAXで受付けています。

日時：平成25年12月15日(日) 11:00～15:30  
場所：国頭村辺戸地区  
参加費：1名様2,500円(前払)  
※昼食は現地の方々をご用意致します  
※開催日前7日以降のキャンセルは返却できません

往復バス賃：1,000円(当日払)  
集合場所：当麻町「ローソン駐車場」  
集合時間：7:30 出発時間：8:00

※定員(70名)となり次第締め切りとさせていただきます。

問合・申込：ポタリング首里

電話 098-963-9294

FAX 098-963-9296



**御物上** (ウテムノワサキ) 旗政の世話係

**旗政** (シシイ) 旗政の世話係

**供** (とも) 旗政の世話係

**白色毛槍** (シロモウチ) 旗政の世話係

**鶏毛箒** (トモハハシ) 旗政の世話係

**鉄又** (テツマタ) 旗政の世話係

**八角棒** (ハツカク) 旗政の世話係

**虎旗** (トラハタ) 旗政の世話係

**鼓** (チシ) 旗政の世話係

**ガクプラ** (ガクプラ) 旗政の世話係

**馬プラ** (ウマプラ) 旗政の世話係

**牛プラ** (ウシプラ) 旗政の世話係

**銅鑼** (ドウロ) 旗政の世話係

**大字旗** (オウジハタ) 旗政の世話係

**赤御涼傘** (アカウラサン) 旗政の世話係

**親雲上** (オヤジ) 旗政の世話係

**築佐事** (キツサジ) 旗政の世話係

**諷仲門** (ウチナカド) 旗政の世話係

**琉球國王御幸指針** (ウチナカド)

**棋政** (シシイ) 国王に次ぐ王府最高位の官職で、国王の補佐役。第一尚氏の時代は国相、王相といひ、中国人が最高顧問のような形で就任していた。その後国相制度は途絶え、第二尚氏尚寧王の時代に棋政として復活。今で言う総理大臣のような地位だが、一部の例外を除き、多くは王族による名誉職的なものだった。

**八角棒～白色毛槍** (ハツカク) 八角棒、鉄又、鶏毛箒、白色毛槍は武器。国王を警護する目的で行列に加わる。

**虎旗** (トラハタ) 虎のイラストが描かれた旗。「金鼓」と書かれた大字旗と共に行列の士気を高める役割があるとされる。

**路次楽** (ルジカク) 国王行幸の際や、琉球から江戸へと旅をした琉球使節が行列をなして歩く際に演奏された音楽。1522年に中国へ慶賀使として渡った沢庵盛里親方が琉球へ伝えたといわれる。演奏は首里王府路次楽保存会の皆さん。

**赤御涼傘** (アカウラサン) 御涼傘とは、王族をはじめとする高貴な身分の人が外出する際に、お供が持ち歩いた装飾用の傘。中国からもたらされたもので、もともとは日傘から発生した。サクグイと呼ばれる役人が、大きな傘を揺らしながら歩く。

**親雲上** (オヤジ) 男性の士族がかかる帽子のようなものは冠と呼ばれ、色や織りで身分の上下が一目でわかる。下位から、青冠の子が無位、赤冠は里之子と筑登之、黄色冠が親雲上、紫色は親方。浮き織りの豪華な冠は上級士族・王族クラスだ。

**諷仲門** (ウチナカド) 行列の先導役。「御主加那志前がうとーいびんどー」(国王様のお通りですよ)と口上を述べる。

**若衆** (ワカス) 琉球王朝時代は、元服前の少年を美しく着飾る習慣があった。女性のような赤い着物を着用し、女性のように髪を結うが、シーファー(かんざし)を前から挿すのは男子の証明。国王のお世話をする係として、容姿端麗な秀才が選ばれたという。古式行列では美少年ではなく、女性が若衆役を担当。

**王妃御轎** (おうひつちゅう) 本来、王妃は御三ヶ寺参詣行列には参加しないのだが、古式行列ではイベントとしての演出のため、沖縄美ら島財団が選出する国王・王妃に平成19年から参加してもらっている。首里城祭で国際通りを歩く琉球王朝絵巻行列では、王妃は華やかな紅型を着用しているが、琉球王朝まつり首里の古式行列では、首里織りの打掛を着用している点にもご注目。

**国王御轎** (こくおうウチゅう) 御轎とは、国王が乗られる輿のこと。約500年前の尚真王の時代に中国から金張りの御轎を購入して、御三ヶ寺参詣行列が始められたとも言われている。

**大學扇** (だいがうせん) 陽射しを遮るほか、国王の目に入れないものがあると、この大學扇をかざして見えないようにしたとされる。

**三司官** (さんしこう) 王府内で旗政に次ぐ地位だが、実質的には宰相的役割を担う最高責任者。王族や上級士族からの投票で選ばれ、王族以外の士族が昇進できる最高のポスト。史実では三司官のうち一人は御三ヶ寺参詣行列には参加せず、首里城で留守番役を務めたが、時代行列ではイベントの演出として三人とも行列に参加している。

**黄御涼傘** (オウゴウラサン) 王府内で旗政に次ぐ地位だが、実質的には宰相的役割を担う最高責任者。王族や上級士族からの投票で選ばれ、王族以外の士族が昇進できる最高のポスト。史実では三司官のうち一人は御三ヶ寺参詣行列には参加せず、首里城で留守番役を務めたが、時代行列ではイベントの演出として三人とも行列に参加している。

**御物上** (ウテムノワサキ) 旗政の世話係

**竜刀・白色毛槍** (リウダウ) 旗政の世話係

**三司官** (さんしこう) 王府内で旗政に次ぐ地位だが、実質的には宰相的役割を担う最高責任者。王族や上級士族からの投票で選ばれ、王族以外の士族が昇進できる最高のポスト。史実では三司官のうち一人は御三ヶ寺参詣行列には参加せず、首里城で留守番役を務めたが、時代行列ではイベントの演出として三人とも行列に参加している。

**近習** (ウチナカド) 旗政の世話係

**小鶏毛扇** (こウシハシ) 旗政の世話係

**繩弘** (ヒナバシ) 旗政の世話係

**随行人** (ウチナカド) 旗政の世話係

**女官** (にょくわん) 旗政の世話係

**聞得大君駕籠** (ウチナカド) 旗政の世話係

**高級神女** (ウカミンチュ) 旗政の世話係

**随行人** (ウチナカド) 旗政の世話係

**ウビーブル** (ウビーブル) 旗政の世話係

**女官** (にょくわん) 首里城には男子禁制の御内原があり、国王や王族たちのプライベートな生活空間として使われていた。御内原は基本的に女官が取り仕切る、大典のような存在。古式行列でも大勢の女官たちが華やかに登場する。

**聞得大君駕籠** (ウチナカド) 聞得大君は琉球国最高位の神女で、国王と国の守り神として、国の安泰と繁栄、五穀豊穡、国王の健康長寿などを祈る祭祀を司る役割を担っていた。尚真王の時代に王の妹が初代聞得大君となって以来、代々王族の女性が就任してきた。

**高級神女** (ウカミンチュ) 古式行列の後半は、聞得大君の弁ヶ嶽御参拝行列を復元したもの。王府では、聞得大君を頂点として、高級神女から村々のノロに至るまでピラミッド型の神女組織をつくり上げていた。古式行列で高級神女役を担当するのは、首里キューナ保存会の皆さん。キューナとは、五穀豊穡と国の安泰と繁栄を神に祈る古謡のこと。独特の節回しに、耳を傾けてみて。

**ウビーブル** (ウビーブル) 国王が使うお茶道具一式が入っている。後ろのワクは、雨具を入れる道具。ワクの後に大勢の随行人が続いて、国王の御三ヶ寺参詣行列は終了となる。

古式行列

まるわかり解説

琉球王朝まつり首里の古式行列は、正月三日に国王が国の安泰と繁栄を願って三つの寺院、円覚寺、天王寺、天界寺に参詣する初行幸「御三ヶ寺参詣行列」を再現したもの。十一月三日のまつり当日は、このページを片手に古式行列を楽しんではいかが。